

令和 5 年
災害の概要



安全・安心な南但を目指して



南 但 消 防 本 部

目 次

1	火災の概要	1
1-1	火災の状況	2
1-2	地域別の状況	3
1-3	月別発生状況	4
1-4	出火原因	5
2	救急の概要	6
2-1	救急出場状況	7
2-2	地域別出場状況	8
2-3	月別出場状況	9
2-4	医療機関別搬送状況	10
2-5	事故種別・傷病程度別搬送人員	11
3	救助の概要	12
3-1	救助出動状況	13
3-2	地域別出動状況	14
3-3	月別出動状況	15
3-4	救助活動件数及び救助人員状況	16
4	通信の概要	17
4-1	119番受信の状況	18
4-2	ドクターヘリ・ドクターカー月別要請状況	19

1 火災の概要

令和5年の出火件数は28件で、前年（30件）と比較すると2件の減少となっています。火災種別でみると、建物火災が14件、林野火災が1件、車両火災が7件、その他の火災が6件となっています。

（1）地域別の火災発生状況

朝来市の出火件数は16件で、その内訳は、建物火災が10件、林野火災が1件、車両火災が2件、その他の火災が3件となっています。

養父市の出火件数は12件で、その内訳は、建物火災が4件、車両火災が5件、その他の火災が3件となっています。

地域別の出火件数でみると、朝来市は、生野4件、和田山5件、山東3件、朝来4件となっており、養父市は、八鹿4件、養父3件、大屋3件、関宮2件となっています。

（2）火災損害額の状況

火災の損害額は25,106千円で、前年と比較すると13,343千円減少しており、朝来市は12,121千円、養父市は12,985千円となっています。

地域別でみると、朝来市は、生野が275千円、和田山が11,621千円、山東が39千円、朝来が186千円となっており、養父市は、八鹿が9,552千円、養父が8千円、大屋が2,876千円、関宮が549千円となっています。

なお、養父市（養父）の車両火災1件の損害額は、調査中のため未計上としています。

（3）月別の火災発生状況

月別の出火件数は、最も多い月が3月で5件となっており、次いで10月・11月が4件、2月・4月・7月が3件、1月・5月が2件、6月・9月が1件となっています。

なお、8月・12月は無火災でした。

（4）出火原因の状況

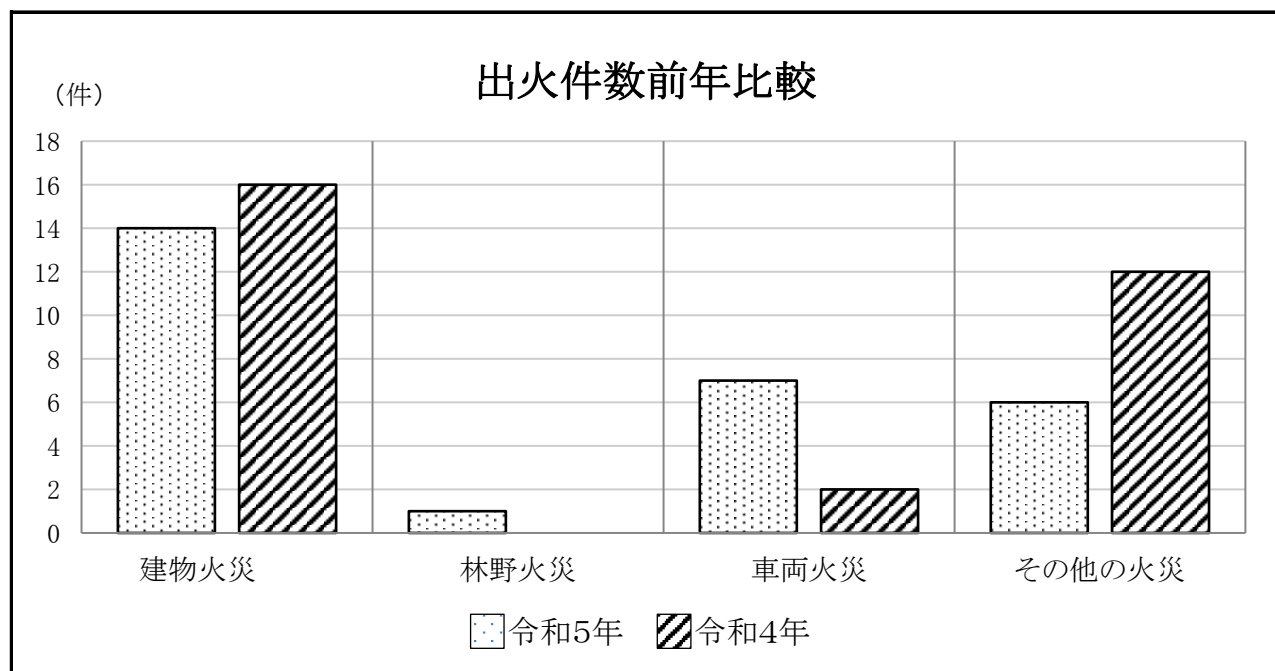
出火原因は、「焼却火」が最も多く7件、次いで「電気関係(その他)」「車両(電気系統)」「車両(その他)」が各2件、「溶接機・切断機」「石油・ガス類(その他)」「電気関係（電気機器)」「車両(排気管)」が各1件でした。

上記以外に「その他」が3件、調査の結果「不明」としたものが8件でした。

1-1 火災の状況

区 分		令和5年	令和4年	比較増減
出火件数	総 数	28	30	△ 2
	建 物 火 災	14	16	△ 2
	林 野 火 災	1		1
	車 両 火 災	7	2	5
	そ の 他 の 火 災	6	12	△ 6
焼損棟数	総 数	16	25	△ 9
	全 焼	5	8	△ 3
	半 焼	1		1
	部 分 焼	5	9	△ 4
	ぼ や	5	8	△ 3
焼損面積	建 物 (m ²)	615	766	△ 151
	林 野 (a)	28		28
損害額(千円)	総 額	25,106	38,449	△ 13,343
	建 物	20,398	38,350	△ 17,952
	林 野	38		38
	車 両	4,668	78	4,590
	そ の 他	2	21	△ 19
り 災 世 帯 数		5	9	△ 4
り 災 人 員		12	17	△ 5
死 者		1	1	
負 傷 者		3	3	

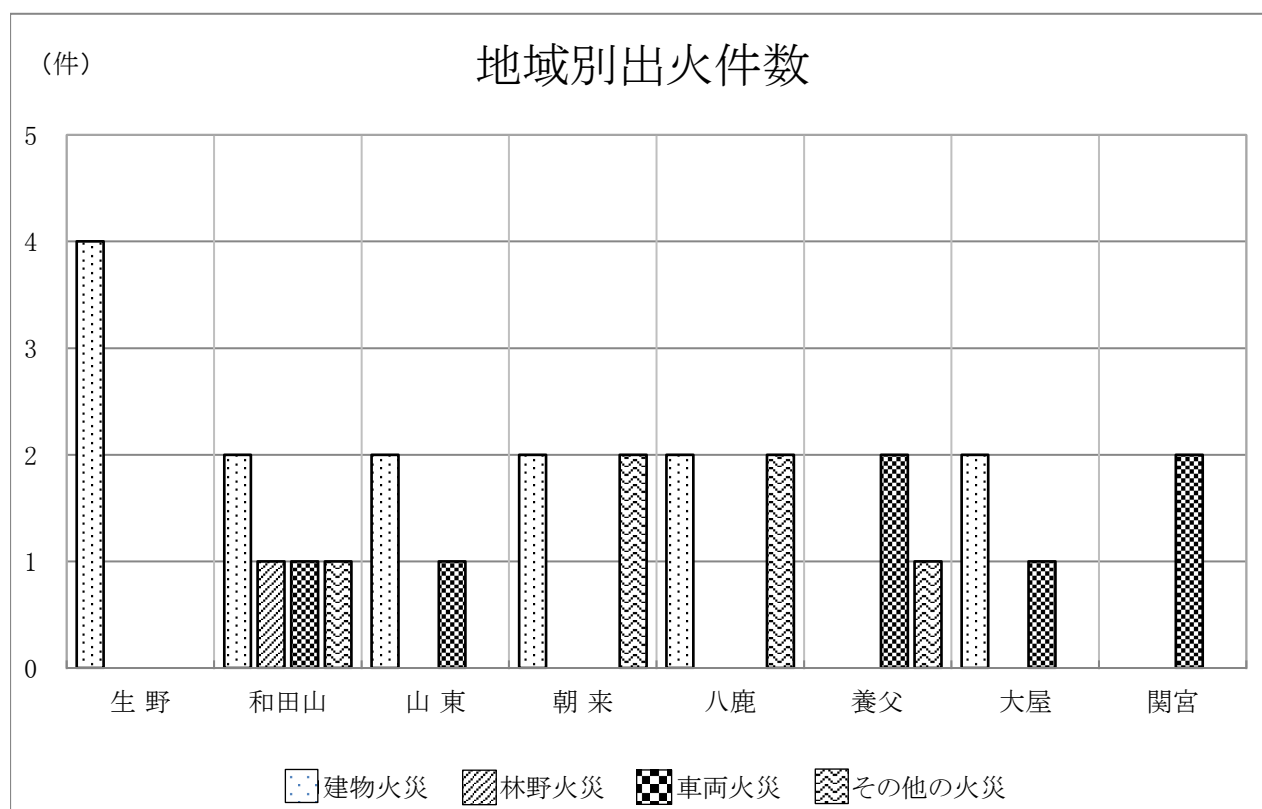
※車両火災1件の損害額は、調査中のため未計上としています。



1-2 地域別の状況

区 分		総 数	朝 来 市					養 父 市				
			計	生野	和田山	山東	朝来	計	八鹿	養父	大屋	関宮
出火件数	総 数	28	16	4	5	3	4	12	4	3	3	2
	建 物 火 災	14	10	4	2	2	2	4	2		2	
	林 野 火 災	1	1		1							
	車 両 火 災	7	2		1	1		5		2	1	2
	その他の火災	6	3		1		2	3	2	1		
焼損棟数	総 数	16	10	4	2	2	2	6	3		3	
	全 焼	5	1		1			4	3		1	
	半 焼	1						1			1	
	部 分 焼	5	4	2		1	1	1			1	
	ぼ や	5	5	2	1	1	1					
焼損面積	建 物 (m ²)	615	283	2	277		4	332	317		15	
	林 野 (a)	28	25		25			3				3
損害額 (千円)		25,106	12,121	275	11,621	39	186	12,985	9,552	8	2,876	549
り 災 世 帯 数		5	3	1	2			2	1		1	
り 災 人 員		12	10	4	6			2	1		1	
死 者		1						1	1			
負 傷 者		3	1	1				2		2		

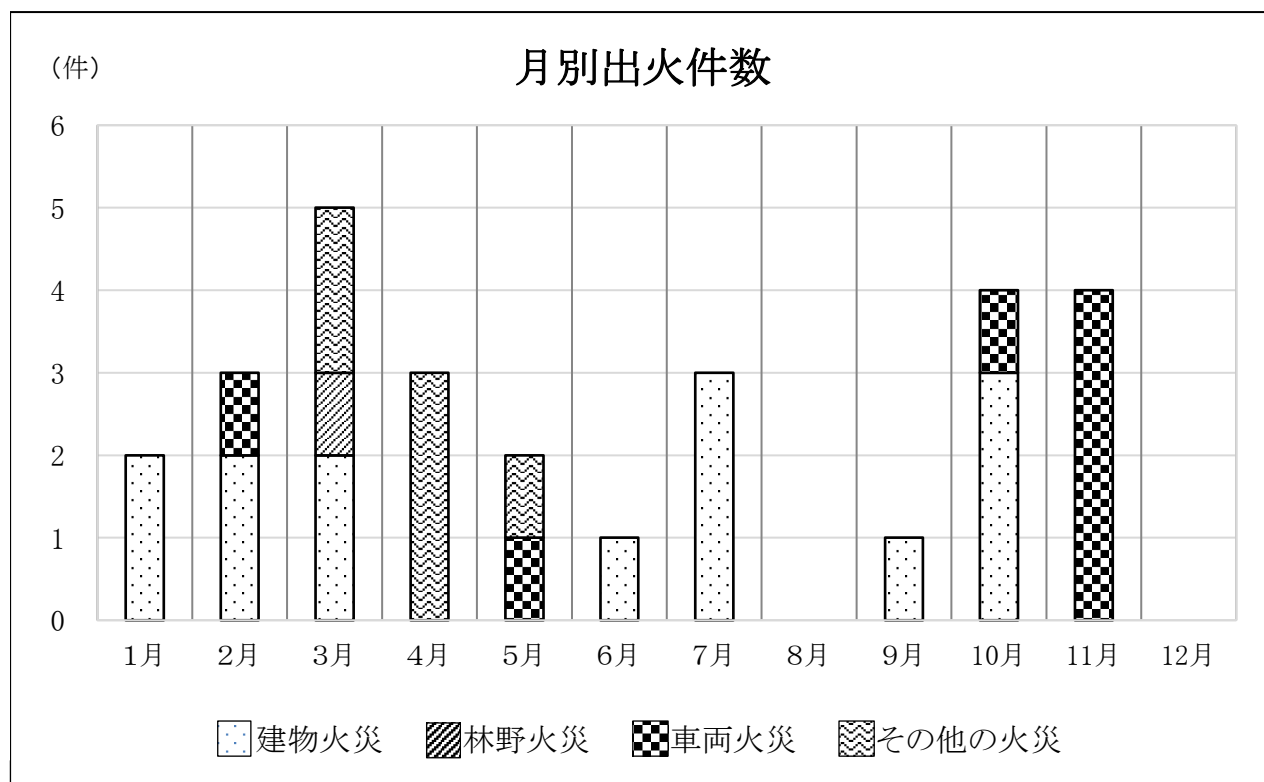
※養父市（養父）で発生した車両火災1件の損害額は、調査中のため未計上としています。



1-3 月別発生状況

区 分		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出火件数	総 数	28	2	3	5	3	2	1	3		1	4	4	
	建 物 火 災	14	2	2	2			1	3		1	3		
	林 野 火 災	1			1									
	車 両 火 災	7		1			1					1	4	
	その他の火災	6			2	3	1							
焼損棟数	総 数	16	2	2	2			2	3		1	4		
	全 焼	5	1		1			2				1		
	半 焼	1										1		
	部 分 焼	5			1				1		1	2		
	ぼ や	5	1	2					2					
焼損面積	建 物 (m ²)	615	277		10			307			4	17		
	林 野 (a)	28			25								3	
損害額 (千円)		25,106	10,151	26	275	2	8	9,475	40		172	1,719	3,238	
り 災 世 帯 数		5	2		1			1				1		
り 災 人 員		12	6		4			1				1		
死 者		1				1								
負 傷 者		3			1		1						1	

※11月に発生した車両火災1件の損害額は、調査中のため未計上としています。



1-4 出火原因

区 分		令 和 5 年					令 和 4 年				
		総 数	建 物	林 野	車 両	その他	総 数	建 物	林 野	車 両	その他
総 数		28	14	1	7	6	30	16		2	12
裸 火	た ば こ						2	1			1
	ラ イ タ ー						1	1			
	焼 却 火	7	2	1		4	7				7
	焼 却 炉						1	1			
	線 香										
人 的	火 あ そ び						1	1			
	放火(放火の疑い)						2	2			
石 油 ・ ガ ス 類	ファンヒーター										
	溶接機・切断機	1	1								
	こ ん ろ						2	2			
	ス ト ー ブ						1	1			
	風呂用バーナー						1	1			
	そ の 他	1	1								
電 気 関 係	過 放 電										
	電 気 機 器	1	1				1	1			
	電 気 装 置						1	1			
	そ の 他	2	2								
車 両	ブ レ ー キ										
	電 気 系 統	2	1		1		1			1	
	排 気 管	1			1		1			1	
	そ の 他	2			2		1	1			
煙 突							1	1			
グラインダーの火花							1	1			
エンジンカッターの火花							1				1
そ の 他		3	3				2				2
他	不 明	8	3		3	2	2	1			1
	調 査 中										

2 救急の概要

令和5年の救急出場件数は3,047件、搬送人員は2,713人で、前年(3,078件、2,762人)と比較すると件数で31件の減少、人員で49人の減少となっています。事故種別でみると、急病が1,973件で最も多く、次いで一般負傷が500件、転院搬送が231件、交通事故が152件となっています。

(1) 地域別の出場状況

朝来市の出場件数は1,647件で、生野256件、和田山824件、山東264件、朝来303件となっています。事故種別でみると、急病が1,108件、一般負傷が254件、転院搬送が113件、交通事故が97件となっています。

養父市の出場件数は1,399件で、八鹿549件、養父434件、大屋173件、関宮243件となっています。事故種別でみると、急病が864件、一般負傷が246件、転院搬送が118件、その他が85件となっています。

(2) 月別の出場状況

月別の出場状況は、最も多い月が1月で311件、最も少ない月が4月で208件となっています。

(3) 医療機関別の搬送状況

搬送人員2,713人のうち管内医療機関に1,293人(47.7%)、管外医療機関に1,420人(52.3%)を搬送しています。

医療機関別にみると、豊岡病院に1,253人搬送、次いで八鹿病院861人、朝来医療センター422人、神崎総合病院101人の順となっています。

なお、統計上、ドクターヘリで搬送した場合は全て豊岡病院への搬送として集計しています。

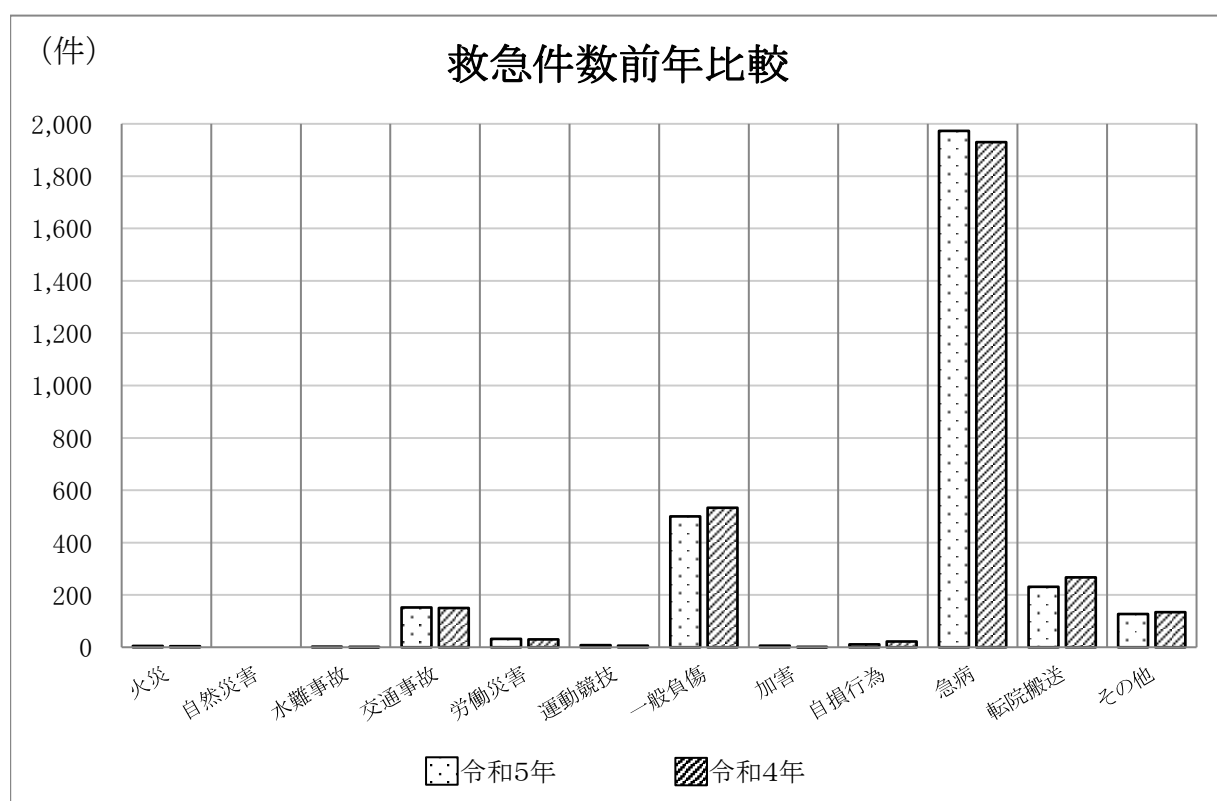
(4) 傷病程度別の搬送状況

搬送人員を傷病程度別でみると、軽症が1,372人と最も多く、次いで中等症が1,167人、重症が111人、死亡が61人となっています。

2-1 救急出場状況

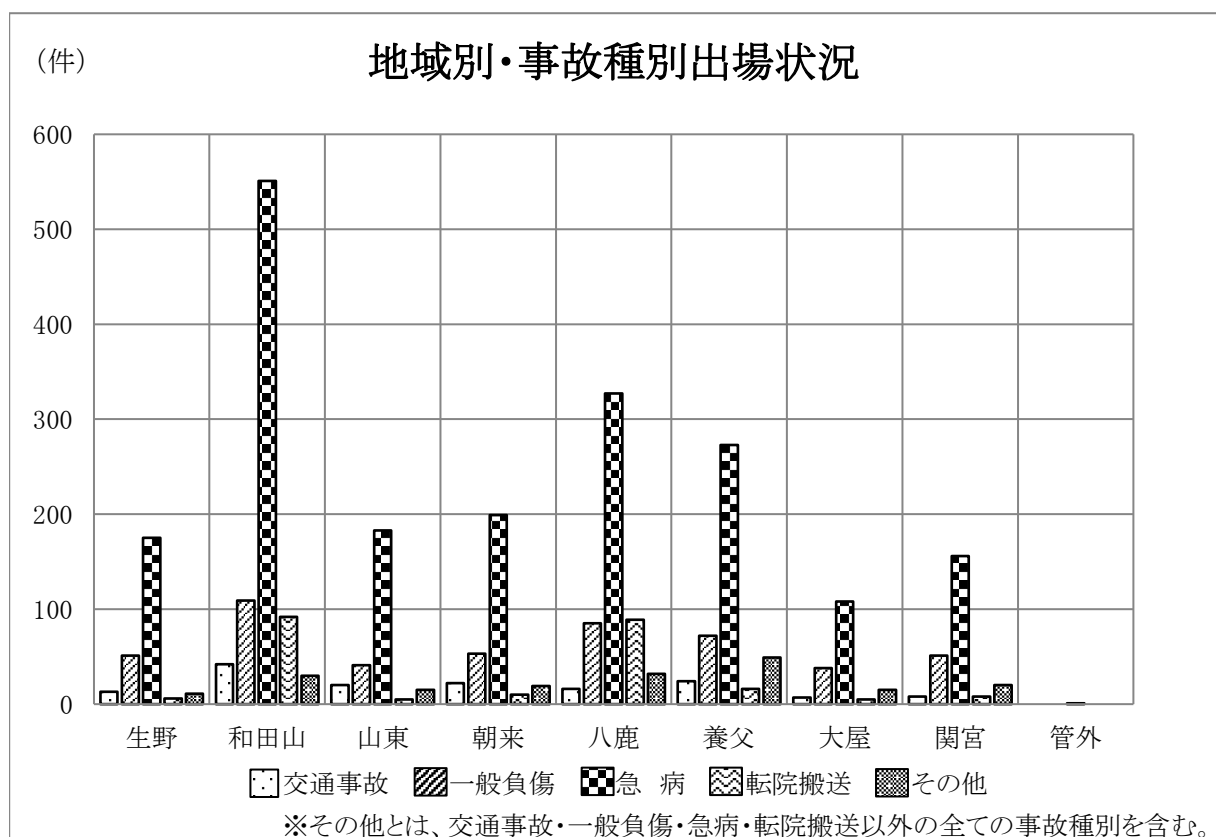
区 分	令 和 5 年		令 和 4 年		比較増減
	件 数	比率(%)	件 数	比率(%)	
総 数	3,047	100	3,078	100	△ 31
火 災	5	0.2	4	0.2	1
自 然 災 害					
水 難 事 故	2	0.1	1	0.1	1
交 通 事 故	152	5.0	150	4.9	2
労 働 災 害	32	1.1	30	0.9	2
運 動 競 技	8	0.3	6	0.2	2
一 般 負 傷	500	16.4	533	17.3	△ 33
加 害	6	0.2	1	0.1	5
自 損 行 為	11	0.4	22	0.7	△ 11
急 病	1,973	64.7	1,930	62.7	43
転 院 搬 送	231	7.5	267	8.6	△ 36
そ の 他	127	4.1	134	4.3	△ 7

※その他とは、上記以外のもの(例)医師搬送など。



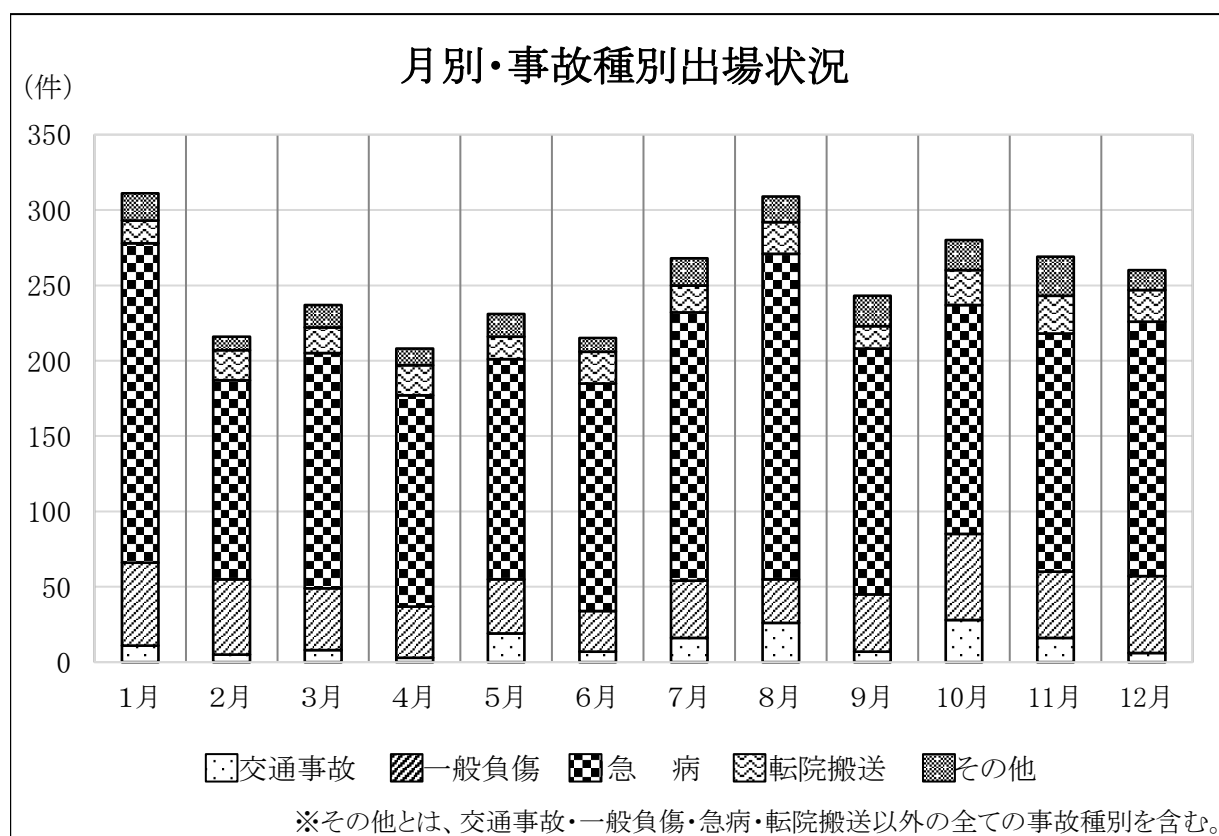
2-2 地域別出場状況

区 分	総 数	朝 来 市					養 父 市					管 外
		計	生 野	和田山	山 東	朝 来	計	八 鹿	養 父	大 屋	関 宮	
総 数	3,047	1,647	256	824	264	303	1,399	549	434	173	243	1
火 災	5	2	1	1			3	2	1			
自 然 災 害												
水 難 事 故	2	1		1			1	1				
交 通 事 故	152	97	13	42	20	22	55	16	24	7	8	
労 働 災 害	32	16	4	4	3	5	16	6	5	4	1	
運 動 競 技	8	4		1	1	2	4	1		1	2	
一 般 負 傷	500	254	51	109	41	53	246	85	72	38	51	
加 害	6	5	1	2		2	1	1				
自 損 行 為	11	5	1	4			6	2	2	2		
急 病	1,973	1,108	175	551	183	199	864	327	273	108	156	1
転 院 搬 送	231	113	6	92	5	10	118	89	16	5	8	
そ の 他	127	42	4	17	11	10	85	19	41	8	17	



2-3 月別出場状況

区 分	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出 場 件 数	3,047	311	216	237	208	231	215	268	309	243	280	269	260
火 災	5			1	1		1					2	
自 然 災 害													
水 難 事 故	2				1				1				
交 通 事 故	152	11	5	8	3	19	7	16	26	7	28	16	6
労 働 災 害	32	2	1	4	2	1	1	2	4	4	1	4	6
運 動 競 技	8				1		2	1	1	1	1	1	
一 般 負 傷	500	55	50	41	34	36	27	38	29	38	57	44	51
加 害	6							1		1	4		
自 損 行 為	11	4			1		1	2	1		2		
急 病	1,973	212	132	156	140	146	151	178	216	163	152	158	169
転 院 搬 送	231	15	20	17	20	15	21	18	21	15	23	25	21
そ の 他	127	12	8	10	5	14	4	12	10	14	12	19	7

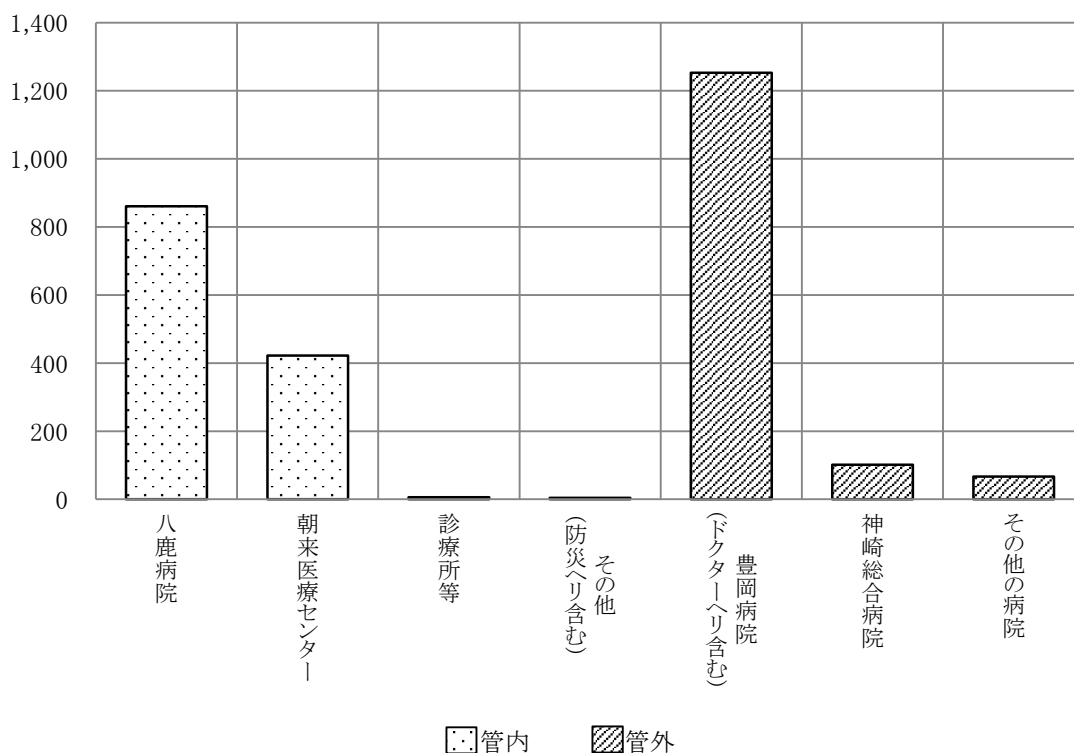


2-4 医療機関別搬送状況

区 分		総 数		交 通	一 般	急 病	転 院	その他
			(%)					
総 数		2,713	100	134	473	1,823	232	51
管 内	計	1,293	47.7	58	301	856	58	20
	病 院	八 鹿 病 院	861	31.8	33	176	595	46
		朝来医療センター	422	15.6	25	121	258	9
	診 療 所 等		6	0.2		1	3	2
	そ の 他 (防災ヘリ含む)		4	0.1		3	1	
管 外	計	1,420	52.3	76	172	967	174	31
	病 院	豊 岡 病 院 (ドクターヘリ含む)	1,253	46.2	70	143	890	122
		神崎総合病院	101	3.7	5	27	63	4
		そ の 他	66	2.4	1	2	14	1

(人)

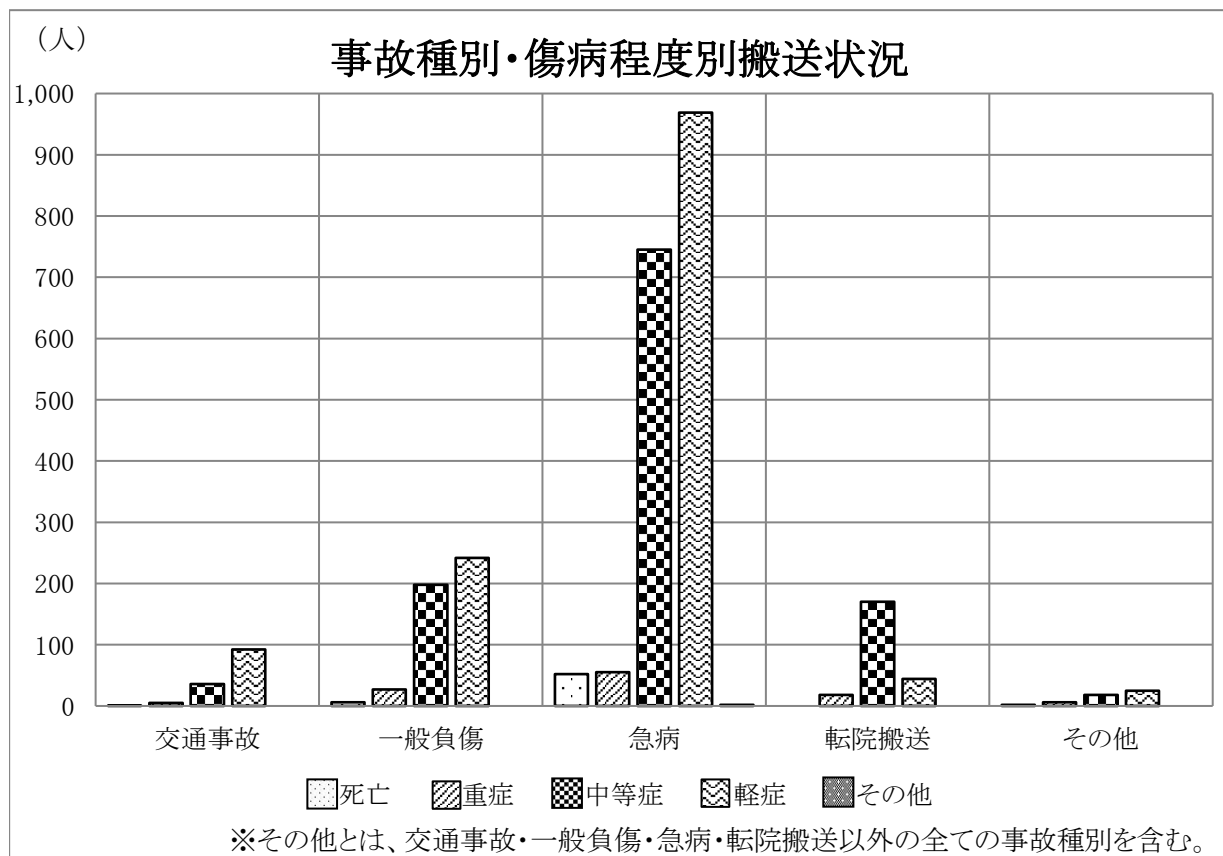
医療機関別搬送状況



2-5 事故種別・傷病程度別搬送人員

区 分	総 数	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他
総 数	2,713	61	111	1,167	1,372	2
火 災	1		1			
自 然 災 害						
水 難 事 故						
交 通 事 故	134	1	5	36	92	
労 働 災 害	32		5	14	13	
運 動 競 技	8			2	6	
一 般 負 傷	473	6	27	198	242	
加 害	4				4	
自 損 行 為	6	2		2	2	
急 病	1,823	52	55	745	969	2
転 院 搬 送	232		18	170	44	

※ 死 亡…初診時、死亡と診断されたもの
 重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症…入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽 症…入院加療を必要としないもの
 その他…医師の診断のないもの



3 救助の概要

令和5年の救助出動件数は56件で、前年(62件)と比較すると6件の減少となっています。事故種別でみると、交通事故が16件、建物等による事故が8件、自然災害が2件、水難事故が2件、機械による事故が1件、その他の事故が27件となっています。

(1) 地域別の出動状況

朝来市内の出動件数は19件で、生野が5件、和田山が6件、山東が2件、朝来6件が件となっています。事故種別でみると、交通事故が5件、建物等による事故が3件、水難事故が1件、その他の事故が10件となっています。

養父市内の出動件数は37件で、八鹿が11件、養父が8件、大屋が10件、関宮が8件となっています。事故種別でみると、交通事故が11件、建物等による事故が5件、自然災害が2件、機械による事故が1件、水難事故が1件、その他の事故が17件となっています。

(2) 月別の出動状況

月別の出動状況は、8月が11件で最も多く、次いで7月・10月が8件、1月が7件、4月・5月・11月が4件、6月・9月・12月が3件、3月が1件となっています。

なお、2月は0件となっています。

(3) 救助活動件数及び救助人員の状況

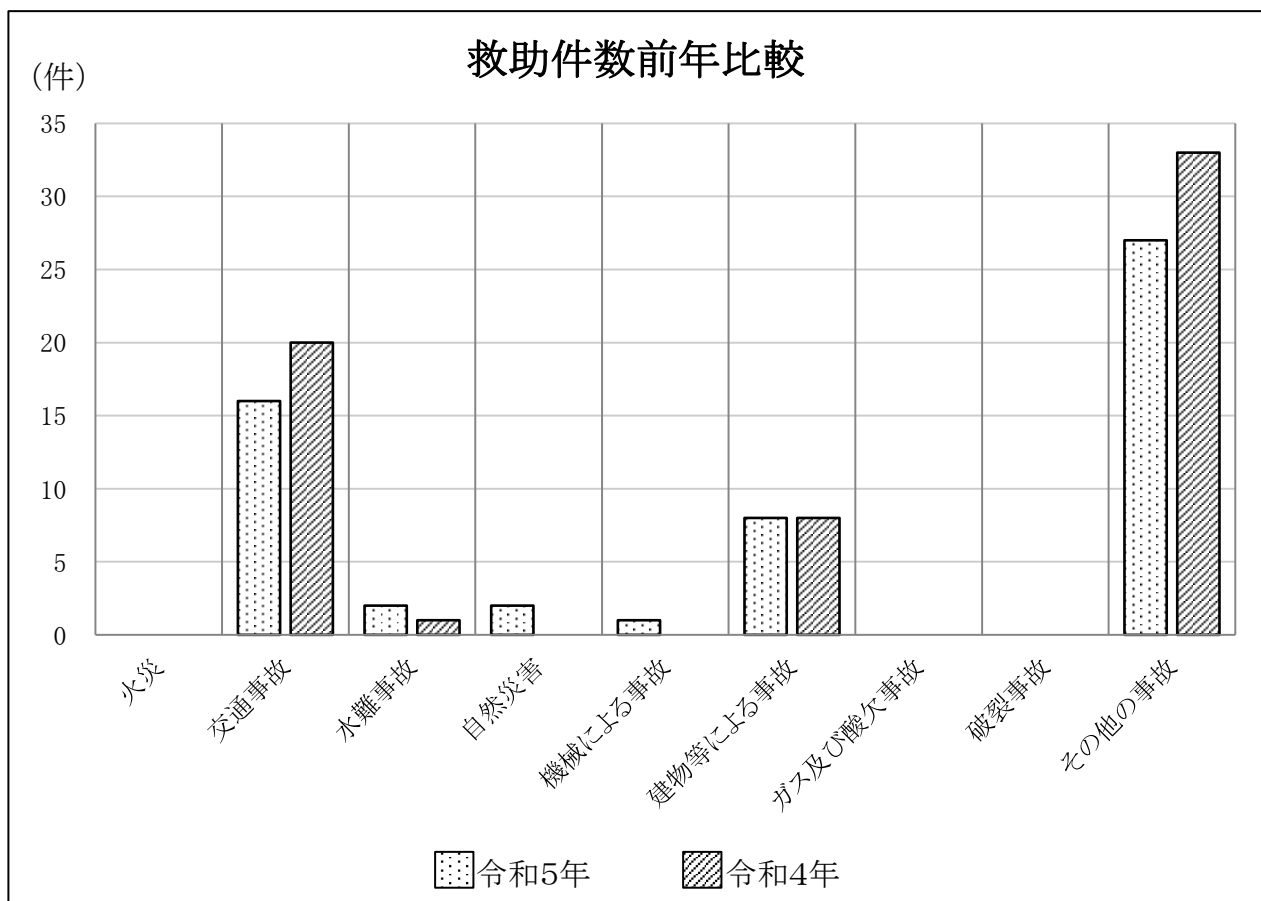
救助隊が救助活動を行った件数は34件で、33人を救助しています。

傷病程度別でみると、死亡6人、重症1人、中等症11人、軽症13人、その他(負傷なし)2人となっています。

※救助活動件数には、人命検索などで、実際には要救助者が存在しなかった活動も含まれます。

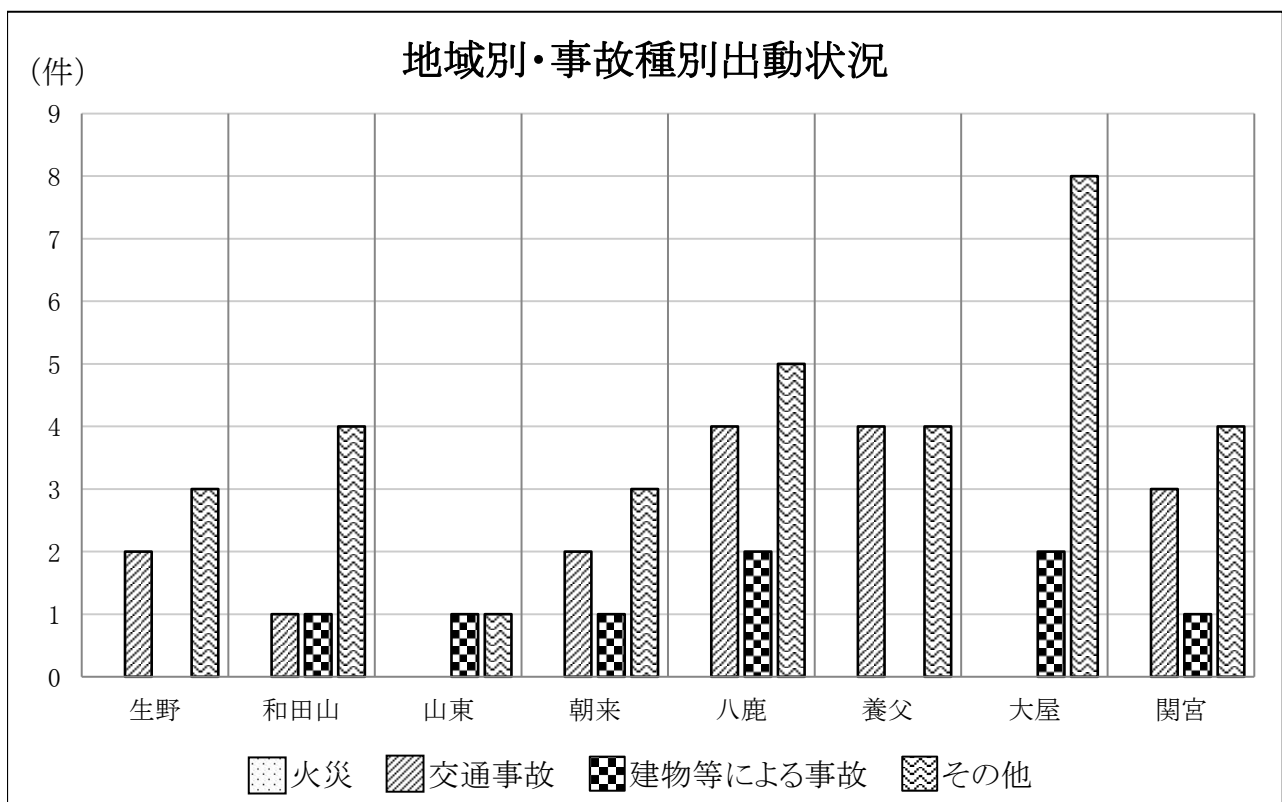
3-1 救助出動状況

区 分	令 和 5 年		令 和 4 年		比較増減
	件 数	比率 (%)	件 数	比率 (%)	
総 数	56	100	62	100	△ 6
火 災					
交 通 事 故	16	28.5	20	32.3	△ 4
水 難 事 故	2	3.6	1	1.6	1
自 然 災 害	2	3.6			2
機械による事故	1	1.8			1
建物等による事故	8	14.3	8	12.9	
ガス及び酸欠事故					
破 裂 事 故					
その他の事故	27	48.2	33	53.2	△ 6



3-2 地域別出動状況

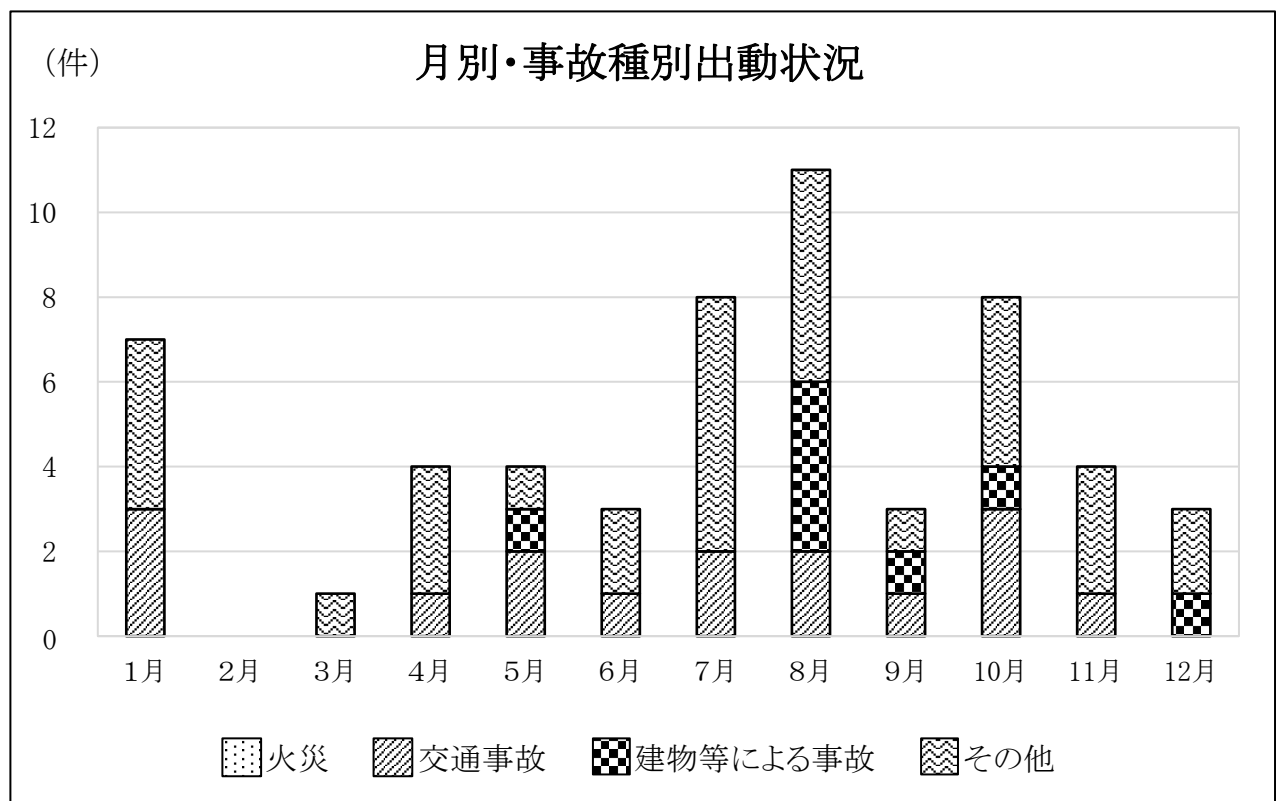
区 分	総 数	朝 来 市					養 父 市					管 外
		計	生 野	和田山	山 東	朝 来	計	八 鹿	養 父	大 屋	関 宮	
総 数	56	19	5	6	2	6	37	11	8	10	8	
火 災												
交 通 事 故	16	5	2	1		2	11	4	4		3	
水 難 事 故	2	1		1			1	1				
自 然 災 害	2						2	2				
機械による事故	1						1		1			
建物等による事故	8	3		1	1	1	5	2		2	1	
ガス及び酸欠事故												
破 裂 事 故												
その他の事故	27	10	3	3	1	3	17	2	3	8	4	



※その他とは、火災・交通事故・建物等による事故以外の全ての事故種別を含む。

3-3 月別出動状況

区 分	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総 数	56	7		1	4	4	3	8	11	3	8	4	3
火 災													
交 通 事 故	16	3			1	2	1	2	2	1	3	1	
水 難 事 故	2				1				1				
自 然 災 害	2								2				
機械による事故	1										1		
建物等による事故	8					1			4	1	1		1
ガス及び酸欠事故													
破 裂 事 故													
その他の事故	27	4		1	2	1	2	6	2	1	3	3	2

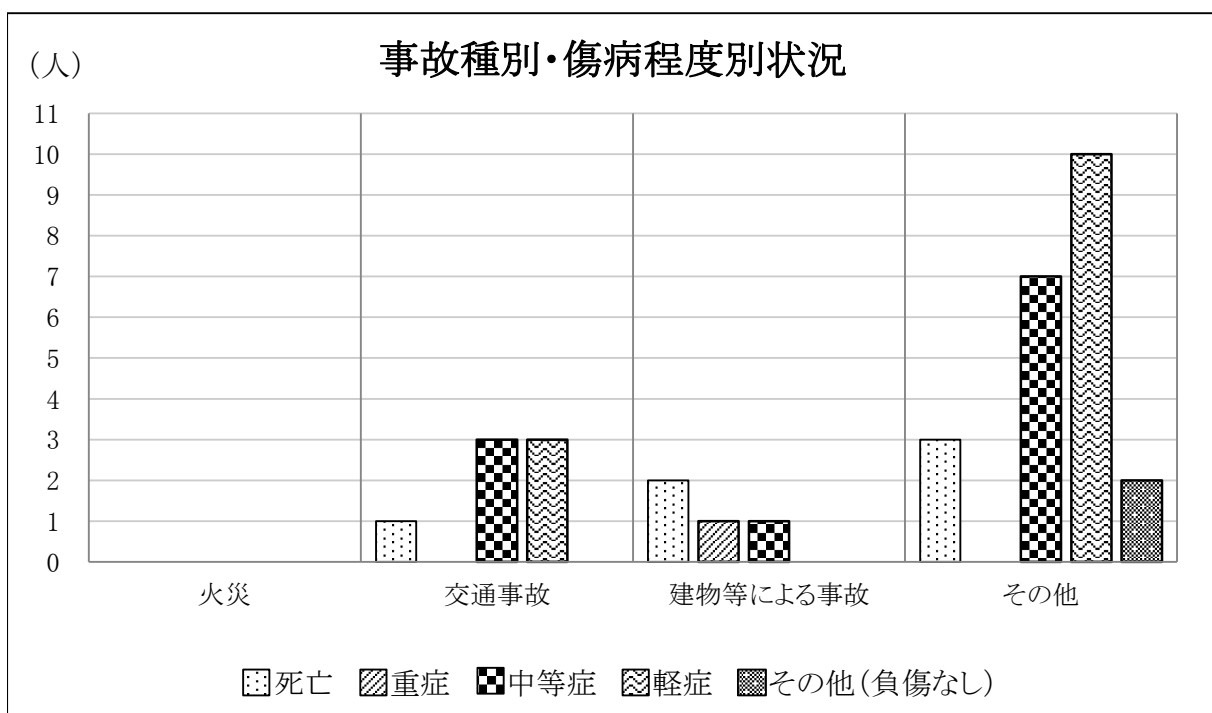


※その他とは、火災・交通事故・建物等による事故以外の全ての事故種別を含む。

3-4 救助活動件数及び救助人員状況

区 分	出動件数	活動件数	救 助 人 員					
			総数	死亡	重症	中等症	軽症	その他
総 数	56	34	33	6	1	11	13	2
火 災								
交 通 事 故	16	7	7	1		3	3	
建物等による事故	8	4	4	2	1	1		
そ の 他	32	23	22	3		7	10	2
生 野	5	4	4	2		1	1	
和 田 山	6	5	5	1		1	3	
山 東	2	1	1				1	
朝 来	6	4	4		1	2	1	
八 鹿	11	7	6	3		2		1
養 父	8	3	3			2	1	
大 屋	10	6	6			2	3	1
関 宮	8	4	4			1	3	
管 外								

※その他とは、火災・交通事故・建物等による事故以外の全ての事故種別を含む。



※傷病程度その他とは、負傷なしを示す。

4 通信の概要

(1) 119の受信状況

令和5年の119番受信件数は3,794件で、その内訳は緊急通報が2,812件、緊急外通報が982件となっています。

また、携帯電話からの119番通報は1,889件で、119番通報全体の49.8%を占めています。

(2) ドクターヘリ・ドクターカーの月別要請状況

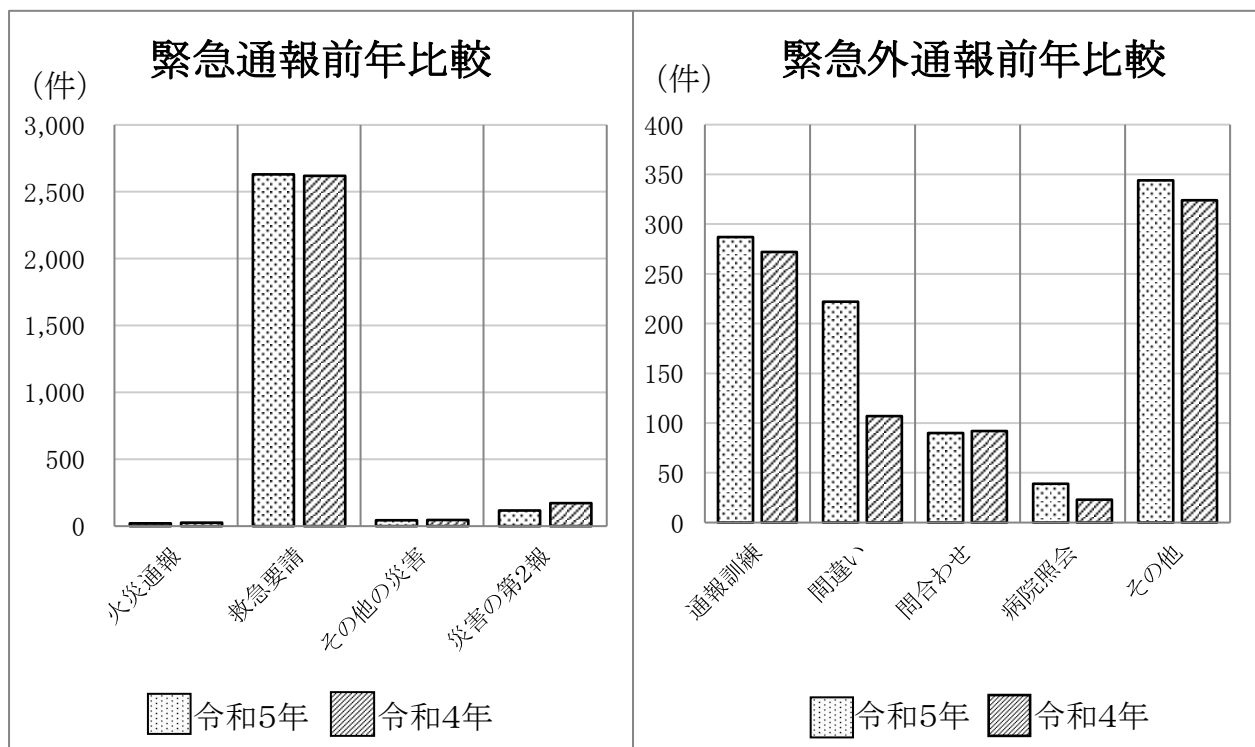
ドクターヘリ・ドクターカーの要請回数は1,587回となっています。

ドクターヘリ・ドクターカーの月別要請状況は、最も多い月が1月で177回、次いで7月と8月が160回となっています。反対に最も少ない月は5月で114回となっています。

また、事故種別でみると、急病が1,346回と最も多く全体の84.8%を占めています。

4-1 119番受信の状況

区 分		令 和 5 年		令 和 4 年		比較増減
		件 数	内携帯電話	件 数	内携帯電話	
総 数		3,794	1,889	3,681	1,640	113
緊 急 通 報	計	2,812	1,400	2,863	1,305	△ 51
	火 災 通 報	21	20	26	18	△ 5
	救 急 要 請	2,630	1,273	2,619	1,160	11
	その他の災害	44	26	46	22	△ 2
	災害の第2報	117	81	172	105	△ 55
緊 急 外 通 報	計	982	489	818	335	164
	通 報 訓 練	287	27	272	16	15
	間 違 い	222	187	107	75	115
	問 合 わ せ	90	60	92	61	△ 2
	病 院 照 会	39	34	23	17	16
	そ の 他	344	181	324	166	20



4-2 ドクターヘリ・ドクターカー一月別要請状況

月別 種別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総 数	1,587	177	116	124	116	114	117	160	160	115	128	130	130
交通事故	76	9	4	4	2	6	5	7	11	3	14	8	3
一般負傷	106	12	9	7	5	8	6	19	5	13	8	12	2
急 病	1,346	150	97	108	107	99	101	127	134	97	101	103	122
転院搬送	31	3	6	3		1	3	3	5		1	4	2
そ の 他	28	3		2	2		2	4	5	2	4	3	1



令和5年度 全国統一防火標語

「火を消して
不安を消して
つなぐ未来」

南 但 消 防 本 部

〒669-5261

兵庫県朝来市和田山町枚田 436-1

TEL 079-672-0119(代)

消防本部ホームページアドレス

<http://www.nantan.hyogo.jp/fire/>

○朝来消防署
消防本部に併設

○養父消防署
〒667-0043
兵庫県養父市八鹿町高柳 173
TEL 079-662-0119(代)